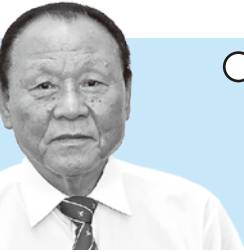


### ○ 今後の勝山市政について

市民の会  
高間清一  
議員



**議** 水上市長は、令和2年12月より勝山市の新しい市長として、「わいわいわくわく安全安心のまち勝山」をキャッチフレーズに、今日までよくやってきたと思うが、この約2年半でやり残したことや今後このようなこともやりたいという思いもあるつかと思う。

**理** 市長就任以来、2年半が経過したこの間、大雪や大雨の災害対応、3年間にわたる新型コロナウイルス感染症による地域経済の縮小への対応、世界的な原材料の高騰による市民生活や地場産業への影響緩和策などの危機対応事業を市議会と連携しながら進めてきた。大雨による災害復旧事業にはまだまだ時間がかかり、感染症対策も引き続き必要。電気料金の値上げなど物価高騰による市民生活への影響は、これから本番といえる。市議会と行政とが車の両輪として、しっかり対応していきたい。

40年にわたり市職員として、福祉、教育、企画、観光、まちづくりなどを担当し

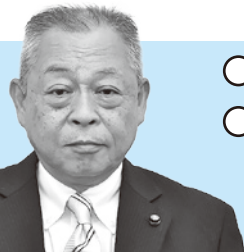
て市民からお聞きした意見や要望、公務員としての行政経験得た知見を踏まえ、部局を超えた機構改革、人口減少・人口構成の変化を見越した事業の見直しを行うことで、観光事業の民間シフト、文化芸術など市民活動への支援、防災減災、子育て支援、多文化共生政策など将来の社会に対応する政策を進めてきた。

現在進めている政策は、全ての皆様の思いと100%合致することは難しいが、市民福祉の向上と子どもたちの未来のために、より良い勝山市の実現に向け、市長として責任を持って進めているもの。旧来の枠組みに固執せず、必要な政策は積極的に進めていく所存である。

その上で、子どもたちへの豊かな生活環境、若者や女性の地域参加推進、教育環境の提供、災害に強い安全安心な体制の維持、高齢者や障害者が暮らし続けることができるまちづくり、誰もが挑戦できる起業への支援、国際化に対応した英会話教育の推進、予防保全によるインフラの維持、観光の産業化などを総合的に進めていく。

### ○ 小舟渡橋建設100周年記念イベント実施について ○ 中学校再編計画について

市政会  
近藤栄紀  
議員



#### その他の質問

- ・ここにこ地域づくり交付金事業について
- ・勝山高校の探究学習について



小舟渡橋

**議** 1923年に完成した小舟渡橋は、今年9月で100周年を迎える。小舟渡橋の歴史的要義を市内外に周知することにより、地域の活性化に繋がるものと考えているが、この機に100周年記念事業を福井県、永平寺町、勝山市の合同開催ができないか。

**理** 小舟渡橋100周年記念イベントの実施については、北郷町区長会から要望書をお願いしている。イベントの開催にあたっては、地元の小舟渡町の取り組みが重要となるので、ここにこ地域づくり交付金の活用についてサポートしていく。その上で、今後、福井県や市町、北郷町の役割分担を明確にし、協議を行っていく。

**議** 中学校の制服や名称など生徒に身近なものを選定方法については、部会の意見や子どもたちの視点を反映することになっているが、魅力ある新中学校を目指すのであれば、もっと生徒の意見を取り入れていくべきではないか。

**理** 先日開催した学校運営部会では、制服や体操服について検討を行った。制服が必要かどうかの話し合いが行われ、必要との意見がある一方、どちらも自由に選べるのがいいのではないかとという意見もあり、現在の中学校で一度、制服、私服のいずれを着てきても良い日を作り、生徒の反応を聞いてはどうかとの意見もあった。

また、制服やそのあり方について、タブレット等を利用してアンケートを取ってはどうかとの意見もあった。このことについては、新中学校の開校に向けて、子どもたちの意見を取り入れていくことが大切であると考えており、児童生徒と語る会の開催やアンケート調査の実施などについて検討していく。